



マークテック

栗原 一博氏

「当社は来年で設立60年を迎える長い歴史があ

ち。気負いはなく、3月14日付で5代目社長に就

任し、5カ月が経過した。マークテックは非破壊検査、マーキング印字装

置の国内最大手。出資比率は投資ファンドが発行済み株式の85%を、松川会長が同15%をそれぞれ保有する。マーキング印

字装置が60%、非破壊検査タイラント(販売)と、

新社長登場

New President

世界トップシェアへ

り、国内トップシェアを任し、5カ月が経過した。マークテックは非破壊検査、マーキング印字装置の国内最大手。出資比率は投資ファンドが発行済み株式の85%を、松川会長が同15%をそれぞれ保有する。マーキング印字装置が60%、非破壊検査タイラント(販売)と、

今後5年以内に連結ベースで売上高が100億円、営業利益は18億円を目指す。現行の世界シェアは推定10%。これを20%超に引き上げて、トップシェアを確立していく」と高いハードルに挑む。(濱坂 浩司)

カーをはじめ、鉄鋼メーカー(高炉、特殊鋼、電炉、鋼管など)、重工業メーカーとの関係性は深い。

国内でトップシェアを維持しながら、20年前からいち早く海外にも展開してきた。現在、海外子会社は3カ国・4社で、マークテック上海探傷設備(中国)、マークテックコリア(韓国)、またタイではマークテックアジア(製造)とマークテック・タイラント(販売)と、

▽栗原一博(くりはら かずひろ)氏1990年慶大・法卒、住友商事入社。鋼管ビジネスを担当し、中国住友商事や米国住友商事などに勤務し、海外経験も豊富。MBAを取得後、グローバル医薬品企業、投資ファンドなど出身。